

# 渋谷を舞台に多様性を学ぶ！ 多様性輝く SHIBUYA を創る！

～これからのグローバル教育講座～

全体統括：松下 慶太氏  
実践女子大学 人間社会学部 人間社会学科 准教授



レポート  
第2回 2014.  
7.12  
[sat]

## 多様性輝く国際文化都市・渋谷 SHIBUYA とは？ (応用編)

多様性を学び、渋谷が世界の中でも先進的な「豊かな多様性が息づき、感じられる」都市となるために、自分に何ができるのかを考える本講座。

第2回目の今回は実践女子大学学生と社会人の方々40名が参加。渋谷にゆかりがあるとともに、さまざまなバックグラウンドをもつゲストをお招きし、その生き方や考え方に触れる「ロールモデルカフェ」を行いました。最後にゲストの方々のアドバイスをいただきながら皆で話し合い、第3回目に実施される「街歩き」の計画を立案。どこを訪ねどんな体験をするか、テーマごとにプランをまとめて発表しました。

\*本講座は、(一般社団法人)グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)との協働プロジェクトとして開発、開催いたしました。



研修コーディネーター：  
辰野まどか氏

一般社団法人 グローバル教育推進  
プロジェクト (GiFT) 事務局長

## ◆多様性にふれるアイスブレイキング

さまざまなテーマの当事者として参加して下さったゲストの方々に、自己紹介と「自分にとって多様性とはどんなことか、多様性がより輝くためには何が大切だと思うか」をお話していただきました。

### [テーマとゲスト]

#### テーマ①LGBT (レスビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー)

##### 杉山 文野さん

NPO 法人ハートをつなごう学校 代表

1981年東京都新宿区生まれ。2007年早稲田大学大学院教育研究科修了。'06年、自叙伝「ダブルハピネス」(講談社)を出版。性同一性障がいである自身のエピソードと大学院での研究を織り交ぜ、重いテーマをポップに語ったことが話題となる。現在は講演活動のほか、NHK教育「Our Voice」のメインMCとして活躍。



#### 【私にとっての多様性】人生の彩り

みんなが同じ格好をして同じことを考えていたら面白くない。「いろいろな人がいる」ということが人生をより豊かに彩るのではないかと思います。それを認識することが多様性につながるのではないのでしょうか。

#### テーマ②障がい

##### 檜山 晃さん

ダイアログ・イン・ザ・ダーク チーフアテンド

1980年東京都生まれ。都立八玉子盲学校高等部を卒業後、筑波技術短期大学(現・筑波技術大学)で情報処理を学ぶ。2002年より、完全に光を遮断した空間の中でさまざまなシーンを体験するソーシャルエンターテインメント「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」にアテンド・スタッフとして勤務。



#### 【私にとっての多様性】わからないことを知る

「多様性」というと何でもありだと考えてしまうかもしれませんが、「何でもありですね」と理解したつもりになって梓をはめた瞬間にそれは失われてしまう気がします。「自分がわかっていない」とわかることが多様性だと思います。

#### テーマ③グローバル

##### ノア アジズ (Noa Aziz) さん

留学・ビジネスコンサルタント

23歳、オランダ出身。22歳で仕事のため来日。現在は日本で留学・ビジネスコンサルタントとして活躍する。(株)テンプ総合研究所が展開するICC国際交流委員会 Internship in Japanプログラムを担当し、日本企業で外国人のインターンシップの手配などを行っている。



#### 【私にとっての多様性】Respect

人にはそれぞれ個性があり、一人ひとり異なっています。けれどそれを尊重する「Respect」の気持ちを持てば、考え方が違う人同士が仲良くなることもできるし信頼関係も結べる。Respectは多様性の実現に欠かせないものと思います。

#### テーマ④宗教

##### ムサビ アハメッド (Musab Ahmed) さん

アラブ首長国連邦よりの留学生

1985年アラブ首長国連邦ドバイ生まれ。小学6年生までイスラム教の宗教学校に通う。大学卒業後の2年間、ドバイの企業に勤務。その後、「世界青年の船」事業に参加し、留学生として来日。異文化理解に関心を持ち、日本のさまざまな学校でボランティア活動を行う。現在は早稲田大学に在籍。



#### 【私にとっての多様性】Educational Background /Age /Culture /Religionの間の壁を壊す

個人の背景にある教育や年齢、文化、宗教はそれぞれ違います。「あの人は自分より年上だから、受けてきた教育が違うから、きっと自分とは話が合わないだろう」などと壁をつくらないことが、多様性を生み出すのだと思います。

## ◆多様性を知るアクティビティ「クロス・ザ・ライン」

日本では、多様性を感じる機会はありませんといわれます。しかし、私たちの社会に多様性は本当にないのでしょうか。ファシリテーターの質問を受け、該当する人がラインの向こう側に移動するエクササイズで、参加者の中の多様性を改めて確認しました。

アクティビティ進行：鈴木大樹氏 一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト (GiFT) ダイバーシティ・ファシリテーター

### 【参加者の中にも、こんな多様性がありました】

- 東京に在住／それ以外の地域に在住
- 大学生／大学生ではない
- 世界 10 カ国以上を訪問したことがある／ない
- 日本語・英語以外の言語を話せる／話せない
- LGBT の友達がいる／いない
- 障がいをもつ友達がいる／いない
- 特定の宗教の信者である／特に信仰はない

「クロス・ザ・ライン！」



## ◆ロールモデルカフェ

テーマごとに 4 グループに分かれ、各テーマの当事者であるゲストのお話を伺いました。参加者は気になるテーマを 2 つ選び、前半・後半でグループを移動して、ゲストたちのリアルな体験や意見に耳を傾けました。

ワークショップ進行：三代祐子氏 一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト (GiFT) ダイバーシティ・ファシリテーター

### テーマ①LGBT



▲性同一性障がいの杉山文野さんをゲストに。

### テーマ②障がい



▲ゲストは視覚障がいを持つ檜山晃さん。

### テーマ③グローバル



▲学生と同世代のノア アジズさんがゲスト。

### テーマ④宗教



▲気さくなムサビ アハメッドさんがゲストに。



▲各テーマに松下ゼミの学生が 1～2 名ついて進行を担当。



▲「GiFT カープ」というワークシートを用いて、「これまで」を振り返っていただきました。



▲参加者も質問やダイアログを通じて活発に発言し、多様性について理解を深めました。



▲感じたことをポストイットに記入し、テーブルの上の模造紙に貼り込んで。

## ◆次回の「街歩き」に向けて

講座第 3 回目の「街歩き」ではどこに向かい、何を体験すれば各テーマをより深く理解できるのか。ゲストのアドバイスをいただきながらロールモデルカフェの最後に話し合った結果を、松下ゼミの学生がテーマごとに発表しました。

### テーマ①LGBT

街歩き当日に渋谷区内で開催されている「東京国際レズビアン&ゲイ映画祭」に行く。また、女性が男装、男性が女装して出かけることも検討している。

### テーマ②障がい

アイマスクや耳栓をつけて渋谷駅前のスクランブル交差点を歩く。檜山さんからいただいた「目の見えない状態で街の匂いや音を感じてみる」というアドバイスも実行してみたい。

### テーマ③グローバル

代々木公園で行われる「ブラジルフェスティバル 2014」に参加し、来場者と話をしたり、出店ブースでさまざまなブラジルの食を味わってみたい。

### テーマ④宗教

代々木上原にあるイスラム教の礼拝所「東京ジャーミー」を訪れたい。ムサビさんも同行してくださるので、実際の礼拝の様子も見学したい。

